

新年のご挨拶

老人保健施設 一羊館 施設長 柳川右千夫

令和8年 新年明けましておめでとうございます。

利用者の皆様および地域の皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。老人保健施設 一羊館は「利用者の方々すべてに尊厳、安心、満足を！」を理念として、利用者の皆様が自立した在宅生活ができるように機能訓練、日常生活のお世話をお手伝いしています。医療・介護の中間機能をもった施設であり、リハビリテーション提供が手厚い（リハビリスタッフが13名）のが当館の特徴の一つです。また、医療的処置（酸素吸入、経管栄養など）を必要とする高齢者ほど介護施設に入所にくい現実がありますが、これらの方々を積極的に受け入れようとしています。昨年は、腸瘻や経皮経肝胆囊ドレナージの方を新たに受け入れました。それから、社会貢献の一環として、学生実習をお引き受けしています（群馬大学医学部、高崎福祉医療カレッジ、高崎健康福祉大学、群馬医療福祉大学など）。学生が真摯な態度で実習しますので、教えたり、質問に答えたり、一緒に考えることでスタッフのレベルが向上します。このような実習は大変良い機会ですので、是非継続しようと思います。また、地域貢献として、小坂子町や高花台団地の清掃活動、芳賀ふるさと祭り、南橘と高花台のピンシャン体操、富士見町の歩行測定会、RUN 伴ぐんま（認知症の方やその家族のサポート）などに参加させていただいています。地域社会との共存を重要視しており、更なる発展を期しています。

さて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行のために、利用者ご家族に面会制限などでご辛抱を頂いております。これらの感染症は高齢者にとって大敵ですので、ご理解とご協力をお願いする次第です。最後に、これまでの関係各位のご指導ご協力に御礼申し上げるとともに、本年も当館の理念のもとに職員スタッフ一同が多職種協働して業務にあたっていきますので、相変わらずのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。